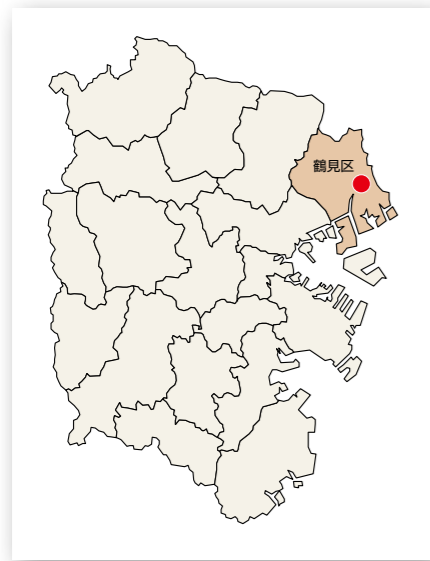


1. 潮田・本町通地区

災害に強く、魅力と賑わいがあり、
様々な人々が共に暮らせるまちづくり

●位置図

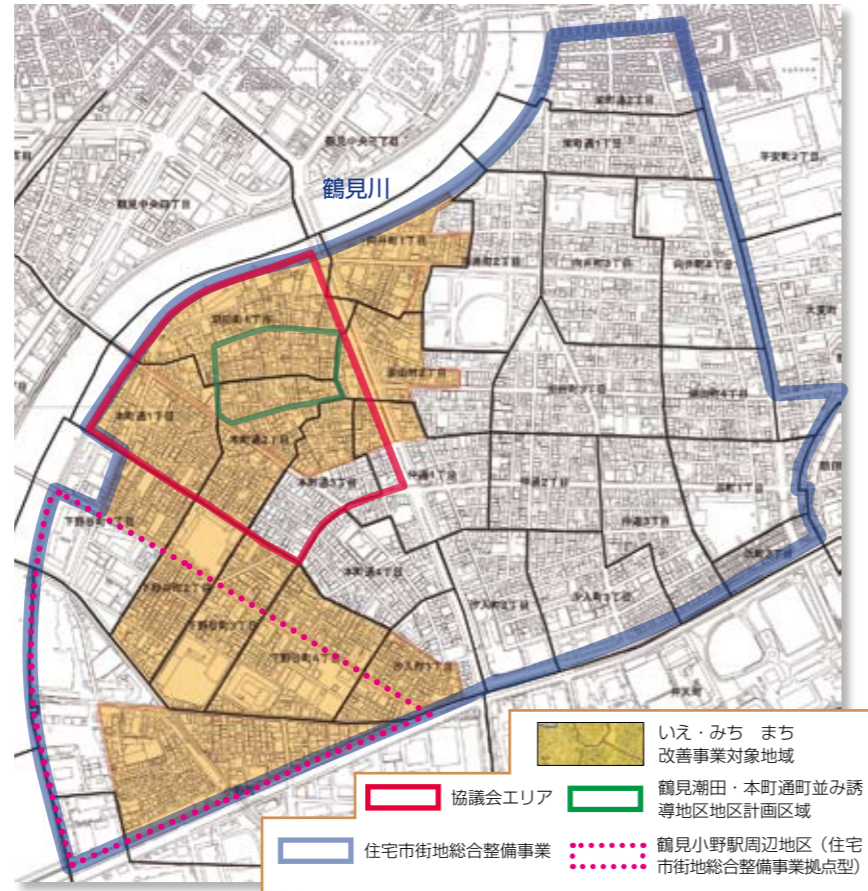


●地域特性

高度成長期以降、臨海部の工業地帯の工場業者の受け皿住宅として建設が進んだ木造賃貸住宅が多く見られ、現在ではそれらを始めとする住宅の老朽化が進んでいる。

特にいえ・みち まち改善事業対象地域では接道状況が悪く、敷地規模が小さい住宅が多いことから、建物の更新が進まず、延焼の危険性が高くなっている。

●区域図



●地区諸元

協議会名	●潮田・本町通地区まちづくり協議会 ●鶴見本町通1丁目A地区防災街区まちづくり協議会
協議会エリア面積	20.0ha（潮田・本町通地区）
人口	約4,100人（H17国勢調査結果より集計・推計）
組織体制・メンバー構成の概要	●潮田・本町通地区まちづくり協議会 会員・町会・自治会及び商店会の会長又は代表者・地区に居住するもの、業を営む者、土地・建物を所有するもので関係町会等から選出された者 関係住民で協議会が特に必要と認めた者 役員 会長1名 副会長3名 運営委員若干名 ●鶴見本町通1丁目A地区防災街区まちづくり協議会 会員 区域内の土地所有者、建物所有者、借地権利者 役員 会長1名 副会長2名 会計1名 幹事若干名 監査2名以内
プラン名	潮田・本町通地区 まちづくり構想

●潮田・本町通地区まちづくり協議会の経緯

H5.11	市街地住宅密集地区再生事業*の大員承認を得る 53.1ha
H5年度～	事業開始
H9.6	「潮田・本町通地区まちづくり協議会」発足
H11.3	広場整備用地取得 約154㎡（本町通3丁目）
H11年度	広場づくりのワークショップ開催
H11.11	「潮田・本町通地区 まちづくり構想」を横浜市に提案
H12年度	本町通三丁目に小広場が完成
H13年度	小野町に緑道を整備 約1,494㎡ 「まちなみルール検討部会」を設置し、地区計画の検討に着手
H15年度	「地区計画素案」を作成、素案を元にアンケート等の実施
H16.8	「鶴見潮田・本町通街並み誘導地区地区計画」都市計画決定
H17.10	「鶴見本町通1丁目A地区防災街区まちづくり協議会」設立
H20.4	（名称変更）潮田・小野町地区住宅市街地総合整備事業

●鶴見本町通1丁目A地区防災街区まちづくり協議会の経緯

H13.2	本町通1丁目A地区共同建替検討会設立
H17.10	鶴見本町通1丁目A地区防災街区まちづくり協議会発足
●鶴見小野駅周辺地区の経緯	
H13.2	住宅市街地整備総合支援事業*の大員承認を得る 29.5ha
H13.4	事業開始
H15.8	ミラリオ鶴見小野（都市再生機構賃貸住宅）入居
H20.8	鶴見小野駅周辺地区まちづくり検討会設立
H21.3	市道生麦第66号線の一部整備
H21.4	横浜サイエンスフロンティア高等学校開校
H23.3	横浜市鶴見工業高等学校 閉校

*：現在の住宅市街地総合整備事業

活動内容（活動成果）

■潮田・本町通地区まちづくり協議会

- 平成9年10月、まちづくりの先進事例として、世田谷区太子堂地区と東池袋地区の視察会を実施した。
- 自分たちのまちを改めて「まちづくり」という視点で点検するため、5グループに分かれて「まちの点検会」を実施し、成果をグループごとにまとめた。
- 9年11月に全世帯にアンケート調査を実施した。
- 空き地になっている国有地を小広場用地として取得してもらおうと市に働きかけ、11年3月に横浜市が国から用地を取得することになった。また、地域の意見を盛り込んだ計画となるよう「広場づくりのワークショップ」を開催し、小広場を整備した。
- 「まちづくりニュース」を発行し、協議会の活動を周知した。
- これらの活動をもとに、課題ごとに検討を重ね、11年11月に「潮田・本町通地区 まちづくり構想」を横浜市に提案した。
- 13年度には地区計画の検討のため、「まちなみルール検討部会」を設置し、16年8月「街並み誘導地区地区計画」を導入した。
- また、本町通り1丁目の共同建替の検討が行われている。

Topics

- これまでに住宅市街地総合整備事業で27棟（281戸）の建替促進事業と2件の耐震改修事業を実施しています。



本町通三丁目公園（小広場）

計画図



小野町 緑道



（「潮田・本町通地区 まちづくり構想」より）

